

開催案内

マンスリーセミナー

400	9/20 (火)	化合物半導体を用いた人工光合成技術の研究動向とCO ₂ 還元反応研究の進展	パナソニック株式会社 先端研究本部 新機能材料研究部 物質変換材料研究課 羽柴 寛 氏
(内容)近年、エネルギー需要の大幅な増大に伴い、化石燃料などのエネルギー資源の枯渇が大きな課題となっている。この課題は持続可能な社会を成立させるために克服必須であり、その解決策の1つとして、太陽エネルギーを用いて資源合成を行う人工光合成技術に大きな注目が集められている。本発表においては、特にIII-V族などの化合物半導体を中心に、無機系材料による人工光合成技術の近年の研究動向について当社の取り組みも交えてを紹介する。また、特にCO ₂ の再資源化の観点で重要な、電気化学CO ₂ 還元反応における研究の進展と今後の展望についても紹介する。			
401	10/18 (火)	データセンター・データコム光通信用超高速半導体レーザの技術動向 ~up to 100 Gbit/s & Beyond; 現在・過去・未来~	日本オクラロ株式会社 デバイス開発センタ 魚見 和久 氏
(内容)急激に発展している情報インフラを支えるデータセンター、データコムでの光通信の心臓部を担う1.3 μm帯～1.55 μm帯半導体レーザの現状と将来動向について紹介する。近年、伝送速度が急速に増大し100 Gbit/sの市場導入が本格的に始まっているが、半導体レーザの直接変調方式とEA変調器方式での超高速変調技術を担ってきた設計・材料技術に関するブレークスルーを過去から俯瞰的に解説する。及び、今後PAM4変調方式が基軸になるであろう400 Gbit/s、1 Tbit/sの伝送速度に向けたさらなる性能向上・省電力化へのチャレンジ&アプローチの研究動向・将来展望について概説する。			
402	11/15 (火)	自動車産業 車体部品へのレーザ溶接品質保証技術	日産自動車株式会社 生産技術研究開発センター エキスパートリーダー 樽井 大志 氏
(内容)自動車産業において軽量化、生産性向上などを実現する手段としてレーザ溶接技術の適用が進んでいる。レーザ溶接品質は被溶接材の隙間をはじめ、加工点出力、スポット径などの影響を受ける。これらの因子はプレス部品の精度やライン環境の影響を受けるため、品質保証技術は量産適用のための重要な技術の1つである。本講演では、自動車車体におけるレーザ溶接に対する品質保証技術について、日産自動車の行っている取り組みを溶接メカニズムなどを交えながら解説する。			
403	12/20 (火)	太陽光発電の最新動向	株式会社資源総合システム 調査事業部長 上席研究員 貝塚 泉 氏
(内容)2015年の世界における太陽光発電世界市場は50 GWとなり、2016年はさらに成長する見込みである。中国、米国、日本などの主要市場に加えて、南米や中東などでも太陽光発電の導入が開始されている。本セミナーでは、太陽光発電市場及び太陽光発電産業の最新動向や新たなビジネスモデルなどを解説する。			

最新情報は光産業技術振興協会のマンスリーセミナーのページをご覧下さい。

会 場：光産業技術振興協会（有楽町線 江戸川橋駅 3番出口）
東京都文京区関口1-20-10 住友江戸川橋駅前ビル7階
時 間：午後3時30分～5時30分
定 員：60名（申込先着順）
<http://www.oitda.or.jp/main/monthly-j.html>

参 加 料：協会賛助会員：1,500円（1回につき・消費税込）
一般参加：3,000円（1回につき・消費税込）
申 込 先：光産業技術振興協会 開発部 間瀬
TEL：(03)5225-6431 FAX：(03)5225-6435
E-mail：mlj@oitda.or.jp